



若手職員による報告書

「2050年の横浜に向けて」

新年度がスタートしました。会社の人事異動や町内会の役員改選などが行われ、新たな気持ちでお過ごしの方も多いと思います。旭区役所も区長をはじめ職員の人事異動がありました。

●新旭区長：萩原 博さん（前任：市会事務局長）

萩原区長は、個人的には課長時代からお付き合いさせていただいています。思いやりがあり、やさしい方なので、区民の相談に親身になって対応してくれることを期待しています。

2年間旭区長としてお世話になった綾部前区長は定年退職されました。綾部前区長もまじめな方で一生懸命職務に励んでいただきました。お疲れさまでした。心より感謝したいと思います。

●横浜市若手職員による報告書「2050年の横浜に向けて」には様々な戦略アイデアが！

さて、横浜市では、開港150年の節目を迎えたことを契機に、若手職員が次の50年を見据え、都心から郊外まで市域全体で持続可能な都市づくりの方向性を検討するために「2050年の横浜に向けて」と題し、横浜市の現状や課題、将来理想とする横浜のビジョンをまとめました。この報告書をたたき台にして、今後横浜市の次期計画を策定するので、大変重要な報告書になります。

これまでにない人口減少や少子・高齢化社会、都市の活力低下が懸念される中、この報告書では地球環境問題の深刻化、低炭素型社会の構築や、さらなる緑の保全・創造が必要であることを前提にしています。

旭区など郊外部では、貴重な緑が多く残されている反面、少子高齢化が進んでいることや30年以上経った大規模団地が多いので、駅までの交通アクセスやバリアフリー化などのインフラの整備が必要です。大規模団地は、若年層・高齢者・地域が支え合う団地を理想とし、学生の居住や省コスト改修を戦略アイデア例として挙げているなど私も大変興味深く、しっかりと読んで今後の政策立案に活かしていきたいと思いました。

●皆様と一緒に将来の横浜を描いていきましょう！

この報告書は横浜市ホームページの都市経営局のページに掲載されていますが、2面に概要をまとめました。

皆様におかれましても、開港150年を祝い、イベントを楽しむだけでなく、将来の横浜のことを是非お考えいただきたいと思います。下記にご記入いただきご送付いただければ幸いです。ご意見をお待ちしております。

E-Mailはこちら naoki@furukawa2002.com

横浜市議員 古川直季

お聞かせください！ **2050年の横浜。どうあって欲しいと思いますか？** ご記入のうえ、FAX願います。古川事務所FAX 366-9700

	お名前：
	メール： @ <small>(メルマガ発行予定)</small>
	TEL：
	FAX：

横浜市の都市構造の現状と負のシナリオ（現状を放置した場合に想定される事態）


	分野	現状・課題	負のシナリオ
(1) 機能・産業構造	昼夜間人口	横ばい傾向	昼人口減少・東京依存・ベッドタウン化
	産業・業務	業務機能停滞・工場の更新停滞や転用	経済活力低下・従業者数の減少
	大学の立地	人口規模に比べて少ない	学生の流出・社会人教育機能の低下
	住宅	戸数増・短い寿命・中古流通少	高齢化対応や住替え困難・住環境悪化
(2) 交通・インフラ構造	道路	幹線街路の整備水準低・渋滞箇所多	財源不足等によるネットワーク未整備
		地区幹線街路の水準低・歩道不足	バリアフリー化困難・自転車通行支障
		生活道路の漸増	財源不足等による維持管理水準の低下
	公共交通	バス乗車数減少・路線廃止	バス利便性低下・公共交通アクセス困難
広域インフラ	高速道路・鉄道・港湾・空港整備の遅れ	全市的な経済活力・魅力低下	
(3) 環境構造	緑の減少	緑被率の減少（開発圧力）が続く	緑被率3割は維持困難・魅力低下
	CO ₂ 削減	CO ₂ 削減が家庭・業務部門等で進まない	CO-DO 30目標達成困難
	水害	雨水浸透機能低下・ゲリラ豪雨	浸水被害増・対策コスト増

エリア別の将来像と戦略アイデア 郊外部

	将来像	戦略アイデア例
①人口が減少し始めている戸建住宅地 ～都市型田園居住を实践できるまち～	・バス交通等で支えるコンパクトな住宅地 ・福祉が充実し自然環境の豊かな住宅地	・駅を中心としたバス路線再編 ・空き家・空地の緑地・農地化
②人口減少が見込まれない住宅地 ～快適性と利便性を兼ね備えたまち～	・便利施設が維持され活力ある郊外住宅地 ・まちの管理に積極的に取り組む住宅地	・維持管理できるマネジメント導入義務化
③駅周辺の市街地 ～活力ある郊外の暮らしを支えるまち～	・駅を中心に住宅・働く場がある主力の市街地	・空き家・空き店舗を活用した生活 ・福祉・子育て支援サービスの提供
④大規模共同住宅団地 ～多様な暮らしが交流し支えあうまち～	・高齢者・若年層・地域が支えあう団地 ・アフォーダブルな住宅	・学生居住による生活サポートシステム構築 ・居住しながら省コスト改修
⑤内陸工業地域 ～ものづくりに多くの人々が働くまち～	・ものづくり・研究開発型産業の拠点 ・雇用を創出するエリア	・周辺地域との共生を伴う内陸型 ものづくり・研究開発拠点の整備
⑥市街化調整区域 ～身近にある暮らしのオアシス～	・適切に維持管理された樹林地・農地 ・産業化された農業	・みどりアップ計画推進
⑦都心周辺の市街地 ～多様な人が利便性を享受できるまち～	・高密度が解消され高齢者も安心な住宅地 ・下町的で働く場もある若者に人気の街	・密集地での空き家をオープンスペース化 ・重点特化した狭あい道路の拡幅整備

出典：「都市づくり研究会」研究結果・報告書

土曜日の朝食を
ちょっと有意義に！
古川なおきと横浜を
元気にしよう！トーク



古川なおき朝食ミーティング

全体で議論する会ではありません。皆様から横浜市の政策についてのご意見を、直接古川本人にお聞かせください。詳しくお話されたい方は、別に日を設定させていただきますので、事務所までご連絡ください。政務調査活動の一環として「多くの市民の皆様のご意見を」「直接うかがい」ます。

<第1回 朝食ミーティング 報告>
学校の校庭利用について、区役所窓口の対応、公園利用、道路、学校の物品購入のあり方、医療、学校教育、行政改革など様々なご意見をいただきました。今後の市政に活かしていきたいと思えます。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。反省点としましては、一般の方と参加者の方と区別が付きにくかったので、次回ご参加の方はレポートを目印に持参いただければと思います。

<第2回 朝食ミーティング> (遅刻、早退OKです)
★日時 2009年5月9日(土) 8時～9時30分
★場所 二俣川駅近くの「ジョナサン」禁煙席
★会費 ご自分で注文した分を直接ジョナサンへお支払いください。
 ※特別に席を予約しているわけではありません。
 ※当日、必ず「古川なおきレポート」をご持参ください。

お問合せ：古川なおき政務調査事務所 TEL 391-4000

<編集後記> 古川事務所でも朝の駅頭でレポートを配布してくれた数名の学生達が新社会人になりました。ある学生は東京の目黒区に住んでいたため、5時に家を出てレポートを配布してくれました。大手保険会社に就職しましたが、会社でも持ち前のガッツでがんばってくれることを期待したいと思います。内定取り消しになった学生もいました。将来は政治家になって地域の街に貢献する夢を持っていますが、いろいろと考えた結果、気持ちを切り替えて自ら起業することを選択しました。新たな門出を祝いたいと思います。

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学・明治大学公共政策大学院 卒業
 横浜銀行勤務後、衆議院議員松沢成文(現在神奈川県知事)秘書
 平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
 平成19年4月 4期目トップ当選(20,056票 市内最高得点)
 現在 水道交通常任委員会委員長
 生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会委員
 自民党横浜市議員団所属

古川なおき政務調査 事務所
 〒241-0825横浜市旭区中希望が丘252-50
 TEL: 045-391-4000 FAX: 045-366-9700
 Mail: naoki@furukawa2002.com
 URL: http://www.furukawa2002.com

